



環境緑地科 緑地工学コースが新潟県森林研究所などを視察見学しました。

目的 キノコ栽培に関する基礎的な知識を習得することで来年度の「課題研究」に向けた研究基礎を構築し、円滑な取組に役立てる。

日時 平成30年2月26日(月) 10時00分～15時30分

場所 ①新潟県森林研究所(村上市鵜渡路2249番地5)

②田上町キノコ生産組合

対象生徒 緑地工学コース 2年生 19名

講師及び ①新潟県森林研究所 きのこと特産課課長 松本 則行 様

実施内容 キノコおよび栽培方法に関する講義を受け、施設を見学した。

②田上町キノコ生産組合 組合長 泉田 洋一 様

菌床栽培の集約的な取組に関する講義を受け、施設を見学した。



新潟県森林研究所での講演



新潟県森林研究所で説明を受ける



ナメコの菌床栽培を観察



シイタケの菌床栽培の様子

生徒の感想 夏場のキノコ栽培は、コストがかかることがわかった。適切な時期に栽培をすることや暑さに強い種類のキノコを栽培するなど、効率を考え工夫した施設利用が必要なことがわかった。

成果 菌床栽培でも質を高める工夫が、できることを研修先の栽培から学ぶことができた。生徒も学校での原木栽培と比較しながら学習ができ、知識が深まった。

講師からの助言 菌床栽培は空調施設を利用することからランニングコストを考えた栽培を進めていく必要がある。主流の菌床栽培に質を求めるには量を制限し、個体あたりの栄養を高める工夫が必要である。

今後の課題 周辺地域における栽培方法の違いなどとも比較し、多角的な視野を生徒に持たせる必要がある。